

野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース/Bコース

運用報告書(全体版)

第28期 (決算日2021年2月22日)

作成対象期間 (2020年8月25日～2021年2月22日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2006年8月28日から2026年8月24日までです。	
運用方針	野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド (以下「マザーファンド」といいます。) 受益証券への投資を通じて、主として世界のプレミアム・ブランド企業の株式に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行います。
主な投資対象	野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース/Bコース マザーファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。 世界のプレミアム・ブランド企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース/Bコース マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式 (預託証書で株券などの性質を有するものならびに上場、登録予定を除く。) への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に原則として、繰越分を含めた配当等収益と売買益等から基準価額水準等を勘案して分配します。 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期騰落率	期騰落	中率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
24期(2019年2月22日)	13,817	250	△ 6.1	256.67	△ 4.7	98.1	—	1,681
25期(2019年8月22日)	14,979	350	10.9	270.02	5.2	97.4	—	1,666
26期(2020年2月25日)	15,087	500	4.1	289.34	7.2	98.5	—	1,415
27期(2020年8月24日)	15,094	550	3.7	337.52	16.7	97.7	—	1,298
28期(2021年2月22日)	18,140	800	25.5	408.16	20.9	97.9	—	2,182

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 参考指数(=MSCIワールド一般消費財・サービス指数(円ヘッジベース))は、MSCI World Consumer Discretionary Index(現地通貨ベース)をもとに、当社が独自にヘッジコストを考慮して、円換算したものです。

* MSCIワールド一般消費財・サービス指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所: MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率		騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2020年8月24日	15,094	—	337.52	—	97.7	—
8月末	15,607	3.4	347.06	2.8	95.2	—
9月末	15,507	2.7	337.02	△ 0.1	96.6	—
10月末	15,239	1.0	336.76	△ 0.2	96.2	—
11月末	17,704	17.3	373.40	10.6	98.2	—
12月末	18,483	22.5	387.96	14.9	96.7	—
2021年1月末	17,981	19.1	393.56	16.6	98.1	—
(期末)						
2021年2月22日	18,940	25.5	408.16	20.9	97.9	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期騰落率	期騰落	中率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
24期(2019年2月22日)	14,148	300	△ 5.9	274.79	△ 3.7	98.5	—	4,981
25期(2019年8月22日)	14,705	350	6.4	280.76	2.2	98.6	—	4,570
26期(2020年2月25日)	15,299	550	7.8	313.52	11.7	98.5	—	4,584
27期(2020年8月24日)	15,061	550	2.0	357.15	13.9	97.8	—	4,404
28期(2021年2月22日)	18,327	800	27.0	434.98	21.8	97.5	—	5,537

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 参考指数(=MSCIワールド一般消費財・サービス指数(円換算ベース))は、MSCI World Consumer Discretionary Index(現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。

* MSCIワールド一般消費財・サービス指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所: MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率		騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2020年8月24日	15,061	—	357.15	—	97.8	—
8月末	15,581	3.5	366.73	2.7	95.4	—
9月末	15,431	2.5	356.19	△ 0.3	97.1	—
10月末	14,964	△ 0.6	352.24	△ 1.4	97.9	—
11月末	17,488	16.1	390.44	9.3	98.8	—
12月末	18,389	22.1	406.42	13.8	96.6	—
2021年1月末	17,974	19.3	415.25	16.3	97.8	—
(期末)						
2021年2月22日	19,127	27.0	434.98	21.8	97.5	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

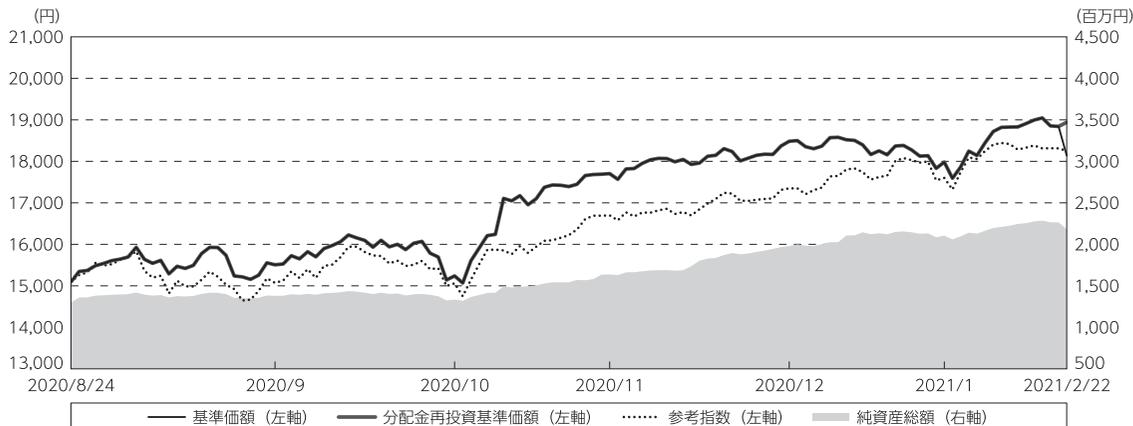
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：15,094円

期末：18,140円 (既払分配金(税込み)：800円)

騰落率：25.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2020年8月24日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数(円ヘッジベース)です。参考指数は、作成期首(2020年8月24日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首15,094円から期末18,140円となりました。

- (下落) 2020年9月は、欧州などで新型コロナウイルスの感染拡大による景気への影響が懸念されたこと、米国の追加経済対策法案の成立が遅れるとの見方が強まったこと
- (下落) 10月は、米国の新規失業保険申請件数やドイツの景気期待指数などが予想以上に悪化したこと、欧州や米国で新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念が強まったこと、米国大統領選挙を控え先行き不透明感が高まったこと、2020年7-9月期の決算が新型コロナの影響で減収となった企業が相次いだこと
- (上昇) 11月は、米大統領選挙が終了し政治の不透明感が後退したこと、米国で大規模な景気刺激策への期待が高まったこと、新型コロナウイルス向けワクチンの開発進展期待から高級ブランド株やホテル株などを中心に上昇したこと

＜Aコース＞

- (上昇) 12月は、中国製造業購買担当者景気指数（PMI）が良好だったこと、FOMC（米連邦公開市場委員会）後の声明で米国の緩和的な金融政策の継続が表明されたこと、新型コロナウイルス向けワクチンの接種開始報道などを背景に景気回復期待が強まり、欧州の高級ブランド株などが続伸したこと
- (上昇) 2021年1月は、米上院でも民主党が過半数を獲得し財政支出拡大への期待が高まったこと、テスラ株に対する強気な見通しが相次ぎ、同社株価が急騰したこと
- (上昇) 2月は、米政府による大規模追加経済対策の協議進展期待が高まったこと、新型コロナウイルス向けワクチンの早期普及期待から、旅行・ホテル・クレジットカード関連株中心に上昇したこと、2020年10-12月期決算で市場予想を上回る業績を発表した企業が相次いだこと

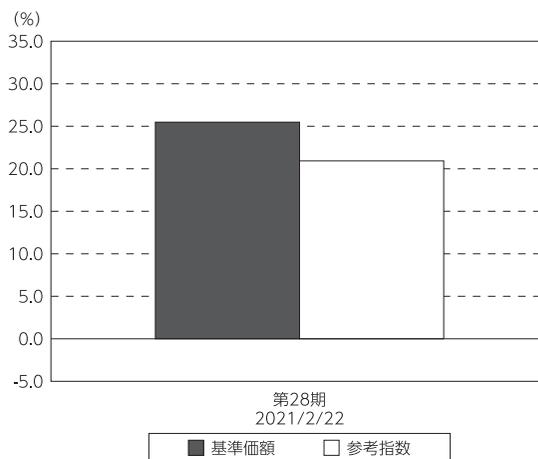
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド一般消費財・サービス指数（円ヘッジベース）の20.9%の上昇に対し、基準価額は25.5%の上昇となりました。主な差異要因としては、非保有であった米国のオンライン小売会社の株価が市場を下回って推移したことや、保有していたマリOTT・インターナショナル株（米国、ホテル運営会社）が上昇したことなどがプラスに寄与しました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数（円ヘッジベース）です。

<Aコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり800円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第28期
	2020年8月25日～ 2021年2月22日
当期分配金	800
(対基準価額比率)	4.224%
当期の収益	800
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,140

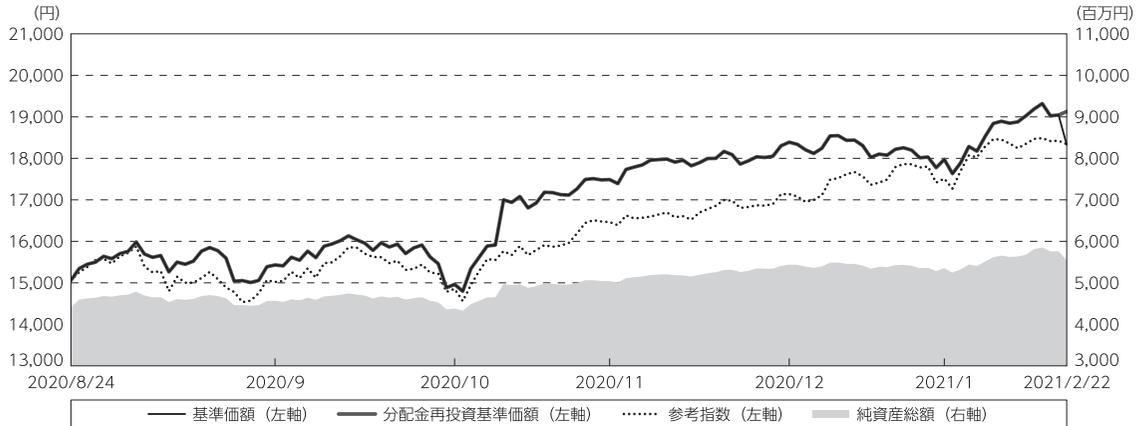
(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：15,061円

期末：18,327円 (既払分配金(税込み)：800円)

騰落率：27.0% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2020年8月24日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数(円換算ベース)です。参考指数は、作成期首(2020年8月24日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首15,061円から期末18,327円となりました。

- (下落) 2020年9月は、欧州などで新型コロナウイルスの感染拡大による景気への影響が懸念されたこと、米国の追加経済対策法案の成立が遅れるとの見方が強まったこと
- (下落) 10月は、米国の新規失業保険申請件数やドイツの景気期待指数などが予想以上に悪化したこと、欧州や米国で新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念が強まったこと、米国大統領選挙を控え先行き不透明感が高まったこと、2020年7-9月期の決算が新型コロナの影響で減収となった企業が相次いだこと、為替市場で対米ドル、対ユーロで円高が進行したこと

<Bコース>

- (上昇) 11月は、米大統領選挙が終了し政治の不透明感が後退したこと、米国で大規模な景気刺激策への期待が高まったこと、新型コロナウイルス向けワクチンの開発進展期待から高級ブランド株やホテル株などを中心に上昇したこと、為替市場でユーロ高・円安となったこと
- (上昇) 12月は、中国製造業購買担当者景気指数（PMI）が良好だったこと、FOMC（米連邦公開市場委員会）後の声明で米国の緩和的な金融政策の継続が表明されたこと、新型コロナウイルス向けワクチンの接種開始報道などを背景に景気回復期待が強まり、欧州の高級ブランド株などが続伸したこと
- (上昇) 2021年1月は、米上院でも民主党が過半数を獲得し財政支出拡大への期待が高まったこと、テスラ株に対する強気な見通しが相次ぎ、同社株価が急騰したこと、為替市場で米ドル高・円安となったこと
- (上昇) 2月は、米政府による大規模追加経済対策の協議進展期待が高まったこと、新型コロナウイルス向けワクチンの早期普及期待から、旅行・ホテル・クレジットカード関連株中心に上昇したこと、2020年10-12月期決算で市場予想を上回る業績を発表した企業が相次いだこと、為替市場で米ドル高・円安となったこと

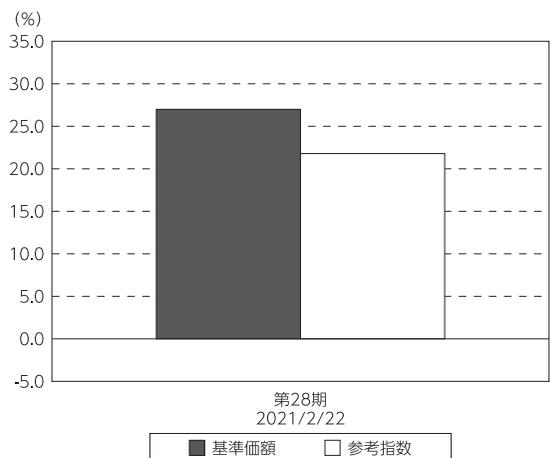
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド一般消費財・サービス指数（円換算ベース）の21.8%の上昇に対し、基準価額は27.0%の上昇となりました。主な差異要因としては、非保有であった米国のオンライン小売会社の株価が市場を下回って推移したことや、保有していたマリオット・インターナショナル株（米国、ホテル運営会社）が上昇したことなどがプラスに寄与しました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数（円換算ベース）です。

<Bコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり800円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第28期
	2020年8月25日～ 2021年2月22日
当期分配金	800
(対基準価額比率)	4.183%
当期の収益	800
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,327

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

世界株式市場は、新型コロナウイルスの感染再拡大や、2020年11月の米国大統領選挙を前に、期初は横這い推移となりました。しかし、米国大統領選挙が終了し政治の不透明感が後退したこと、新型コロナウイルス向けのワクチン開発の進展報道が相次いだこと、各国の景気刺激策の拡大期待が強まったことなどを背景に上昇基調が強まりました。また、為替市場では、コロナ後の世界経済正常化期待などからユーロが対米ドル、対円で上昇（円安）基調となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

〔野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース〕および〔野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Bコース〕は、主要投資対象である〔野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れました。

〔野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド〕

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 主として世界のプレミアム・ブランド企業[※]の株式に投資してまいりました。
※プレミアム・ブランド企業とは、流行を創造するデザインや最高品質などに基づくブランド力により、消費者に幸福感、優越感などの感情をもたらすことができる商品・サービス（プレミアム・ブランド商品・サービス）を提供している企業を指します。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、ボトムアップ・アプローチによる銘柄選別を行い、高い成長が期待される企業の株式を選定してまいりました。
- (3) 個別銘柄の売買については、英領バージン諸島籍の衣料品・アクセサリ株や英国のホテル経営株などを新規に買い付けました。一方、ドイツのスポーツ用品メーカーなどの株式を一部売却しました。

〔野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース〕

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建て資産に対して対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

〔野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Bコース〕

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド]

プレミアム・ブランド企業は、差別化された製品やサービス、ワンランク上の経験、質の高いライフスタイルを提供しています。こうした点は今後も相対的に高い成長をもたらす原動力になるものと考えます。また、こうしたプレミアム・ブランド企業は、健全な財務基盤を有し、高いキャッシュ・フロー創出力を有しています。2020年はコロナ禍で減収となる企業が相次ぎましたが、プレミアム・ブランド企業の売上高動向は、引き続き回復基調にあり、2021年は回復の年になると期待しております。

ファンドの運用に際しては、消費者の「羨望的」となるような強力で魅力的なブランド力を確立している企業の中から銘柄を厳選して投資を行なっていく方針です。特に、最高品質の製品、類似希なるサービスを提供し、今日の消費市場で重要な鍵の一つであるデジタル戦略に十分取り組んでいる企業に注目しています。同時に、持続的な成長が可能か、また、高い収益性が実現できるかなどについても注目しています。潜在的な成長力を考慮すると、足元のバリュエーション（投資価値評価）水準は魅力的であると考えています。

[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース]

主要投資対象である[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Bコース]

主要投資対象である[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

<Aコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年8月25日～2021年2月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	156	0.932	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(83)	(0.494)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(64)	(0.384)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(9)	(0.055)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.017	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(3)	(0.017)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	6	0.035	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(6)	(0.035)	
(d) そ の 他 費 用	5	0.028	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.027)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	170	1.012	
期中の平均基準価額は、16,753円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

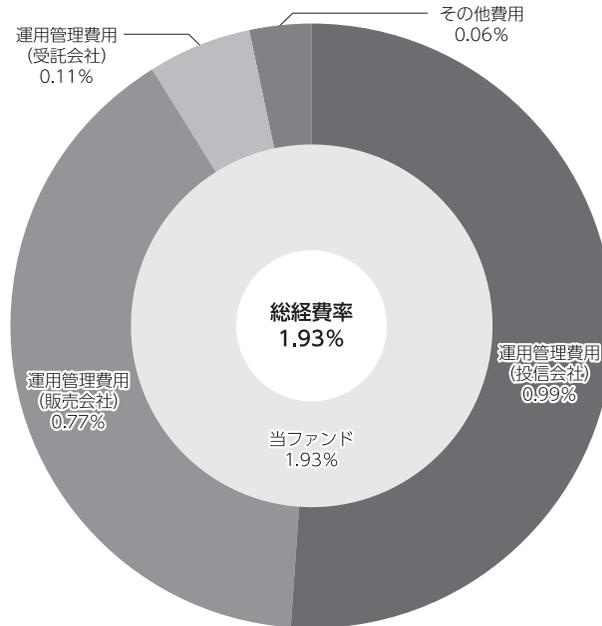
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.93%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2020年8月25日～2021年2月22日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド	千口 203,646	千円 700,500	千口 64,726	千円 222,800

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2020年8月25日～2021年2月22日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	3,268,165千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	6,360,393千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.51	

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年8月25日～2021年2月22日)

利害関係人との取引状況

<野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	%	うち利害関係人 との取引状況D	D C	%
為替先物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 3,792	百万円 23	% 0.6

<Aコース>

<野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	%	うち利害関係人 との取引状況D	D C	%
為替直物取引	百万円 1,154	百万円 53	4.6	百万円 822	百万円 —	—

平均保有割合 25.3%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2021年2月22日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド	千口 439,565	千口 578,485	千円 2,168,624

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2021年2月22日現在)

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	%
野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド	千円 2,168,624	93.6
コール・ローン等、その他	149,302	6.4
投資信託財産総額	2,317,926	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(7,737,133千円)の投資信託財産総額(8,051,698千円)に対する比率は96.1%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=105.50円、1英ポンド=147.98円、1スイスフラン=117.64円、1ユーロ=127.91円、1香港ドル=13.61円、1ランド=7.18円。

<Aコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年2月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,369,478,970
コール・ローン等	50,517,865
野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド(評価額)	2,168,624,991
未収入金	2,150,336,114
(B) 負債	2,187,350,853
未払金	2,075,344,511
未払収益分配金	96,234,058
未払信託報酬	15,744,524
未払利息	42
その他未払費用	27,718
(C) 純資産総額(A-B)	2,182,128,117
元本	1,202,925,736
次期繰越損益金	979,202,381
(D) 受益権総口数	1,202,925,736口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,140円

(注) 期首元本額は860,054,419円、期中追加設定元本額は408,113,031円、期中一部解約元本額は65,241,714円、1口当たり純資産額は1,8140円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額23,273,696円。(野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド)

○損益の状況 (2020年8月25日～2021年2月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 2,596
支払利息	△ 2,596
(B) 有価証券売買損益	367,061,528
売買益	436,819,609
売買損	△ 69,758,081
(C) 信託報酬等	△ 15,772,242
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	351,286,690
(E) 前期繰越損益金	48,856,225
(F) 追加信託差損益金	675,293,524
(配当等相当額)	(420,925,236)
(売買損益相当額)	(254,368,288)
(G) 計(D+E+F)	1,075,436,439
(H) 収益分配金	△ 96,234,058
次期繰越損益金(G+H)	979,202,381
追加信託差損益金	675,293,524
(配当等相当額)	(421,398,170)
(売買損益相当額)	(253,895,354)
分配準備積立金	303,908,857

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2020年8月25日～2021年2月22日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2020年8月25日～ 2021年2月22日
a. 配当等収益(経費控除後)	5,779,907円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	345,506,783円
c. 信託約款に定める収益調整金	675,293,524円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	48,856,225円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,075,436,439円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	8,940円
g. 分配金	96,234,058円
h. 分配金(1万口当たり)	800円

<Aコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	800円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金 (特別分配金) となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金 (特別分配金) となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年8月25日～2021年2月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 155 (82) (64) (9)	% 0.932 (0.494) (0.384) (0.055)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等 ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	3 (3)	0.016 (0.016)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	5 (5)	0.033 (0.033)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用)	5 (4) (0)	0.027 (0.025) (0.002)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	168	1.008	
期中の平均基準価額は、16,637円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

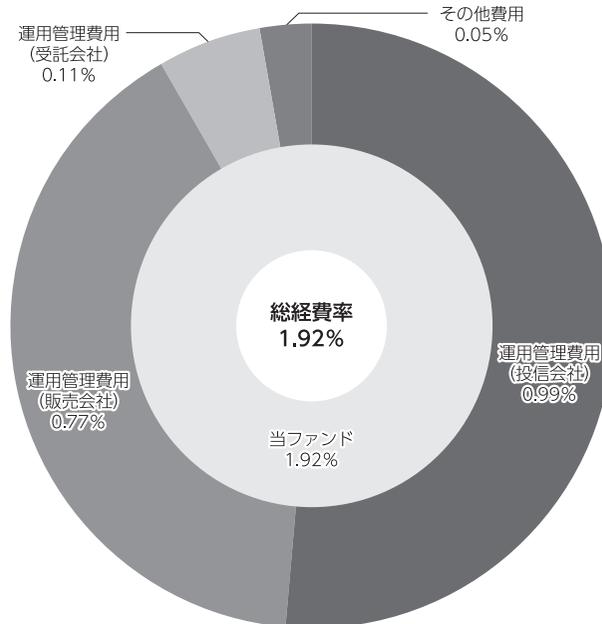
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2020年8月25日～2021年2月22日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド	千口 145,453	千円 496,700	千口 177,449	千円 618,600

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2020年8月25日～2021年2月22日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	3,268,165千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	6,360,393千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.51	

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年8月25日～2021年2月22日)

利害関係人との取引状況

<野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Bコース>
該当事項はございません。

<野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	%	うち利害関係人 との取引状況D	D C	%
為替直物取引	百万円 53	百万円 1,154	4.6	百万円 -	百万円 822	-

平均保有割合 74.7%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

<Bコース>

○組入資産の明細

(2021年2月22日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド	1,493,688	1,461,692	5,479,592

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2021年2月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド	5,479,592	93.8
コール・ローン等、その他	363,462	6.2
投資信託財産総額	5,843,054	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(7,737,133千円)の投資信託財産総額(8,051,698千円)に対する比率は96.1%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=105.50円、1英ポンド=147.98円、1スイスフラン=117.64円、1ユーロ=127.91円、1香港ドル=13.61円、1ランド=7.18円。

<Bコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年2月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	5,843,054,025
コール・ローン等	56,061,515
野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド(評価額)	5,479,592,510
未収入金	307,400,000
(B) 負債	305,422,993
未払収益分配金	241,722,751
未払解約金	16,917,381
未払信託報酬	46,700,465
未払利息	46
その他未払費用	82,350
(C) 純資産総額(A-B)	5,537,631,032
元本	3,021,534,391
次期繰越損益金	2,516,096,641
(D) 受益権総口数	3,021,534,391口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,327円

(注) 期首元本額は2,924,695,667円、期中追加設定元本額は305,408,046円、期中一部解約元本額は208,569,322円、1口当たり純資産額は1,8327円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額23,273,696円。(野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド)

○損益の状況 (2020年8月25日～2021年2月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 7,173
支払利息	△ 7,173
(B) 有価証券売買損益	1,203,613,274
売買益	1,242,095,477
売買損	△ 38,482,203
(C) 信託報酬等	△ 46,782,815
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,156,823,286
(E) 前期繰越損益金	324,997,215
(F) 追加信託差損益金	1,275,998,891
(配当等相当額)	(867,622,658)
(売買損益相当額)	(408,376,233)
(G) 計(D+E+F)	2,757,819,392
(H) 収益分配金	△ 241,722,751
次期繰越損益金(G+H)	2,516,096,641
追加信託差損益金	1,275,998,891
(配当等相当額)	(868,037,226)
(売買損益相当額)	(407,961,665)
分配準備積立金	1,240,097,750

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2020年8月25日～2021年2月22日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2020年8月25日～ 2021年2月22日
a. 配当等収益(経費控除後)	17,448,327円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	1,139,374,959円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,275,998,891円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	324,997,215円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	2,757,819,392円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	9,127円
g. 分配金	241,722,751円
h. 分配金(1万口当たり)	800円

<Bコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	800円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

○ (参考情報) 親投資信託の組入資産の明細

(2021年2月22日現在)

<野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド>

下記は、野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド全体(2,040,177千口)の内容です。

国内株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		
		株 数	株 数	評 価 額
化学 (100.0%)	千株	千株	千円	
資生堂	10.7	15.4	125,510	
合 計	株 数 ・ 金 額	10.7	15.4	125,510
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	<1.6%>

*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

*銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

*評価額欄の< >内は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末			業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
AMERICAN EXPRESS CO	233	272	3,595	379,288	消費者金融	
APPLE INC	63	232	3,014	318,006	コンピュータ・周辺機器	
BROWN-FORMAN CORP-CL B	221	141	1,066	112,484	飲料	
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN	232	223	2,612	275,652	ホテル・レストラン・レジャー	
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	127	109	3,136	330,868	パーソナル用品	
LULULEMON ATHLETICA INC	46	51	1,707	180,123	繊維・アパレル・贅沢品	
MARRIOTT INTERNATIONAL-CLA	184	261	3,559	375,526	ホテル・レストラン・レジャー	
NIKE INC-B	307	207	2,944	310,629	繊維・アパレル・贅沢品	
RALPH LAUREN CORPORATION	—	67	763	80,594	繊維・アパレル・贅沢品	
STARBUCKS CORP	240	243	2,517	265,582	ホテル・レストラン・レジャー	
TESLA INC	14	31	2,499	263,684	自動車	
V F CORP	301	275	2,211	233,302	繊維・アパレル・贅沢品	
VISA INC-CLASS A SHARES	92	117	2,402	253,421	情報技術サービス	
WILLIAMS SONOMA INC	—	55	718	75,799	専門小売り	
CAPRI HOLDINGS LTD	—	401	1,844	194,585	繊維・アパレル・贅沢品	
GARMIN LTD	101	113	1,459	153,944	家庭用耐久財	
小 計	株 数 ・ 金 額	2,166	2,806	36,052	3,803,495	
	銘 柄 数 < 比 率 >	13	16	—	<49.7%>	
(イギリス)				千英ポンド		
DIAGEO PLC	506	552	1,654	244,817	飲料	
INTERCONTINENTAL HOTELS GROUP PLC	—	203	1,039	153,768	ホテル・レストラン・レジャー	
小 計	株 数 ・ 金 額	506	755	2,693	398,586	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	2	—	<5.2%>	

銘柄	株数	期首(前期末)		当期		業種等
		株数	株数	評価額	評価額	
(スイス)	百株	百株	千スイスフラン	千円		
CHOCOLADEFABRIKEN LINDT-PC	1	0.8	644	75,807	食品	
CIE FINANCIERE RICHEMONT-BR A	80	241	2,135	251,277	繊維・アパレル・贅沢品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	81	242	2,780	327,084	
		2	2	—	<4.3%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
ADIDAS AG	87	49	1,457	186,404	繊維・アパレル・贅沢品	
PUMA SE	109	147	1,313	168,057	繊維・アパレル・贅沢品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	197	196	2,771	354,461	
		2	2	—	<4.6%>	
(ユーロ…イタリア)						
BRUNELLO CUCINELLI SPA	155	155	541	69,288	繊維・アパレル・贅沢品	
FERRARI NV	114	106	1,736	222,082	自動車	
MONCLER SPA	196	158	846	108,270	繊維・アパレル・贅沢品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	467	420	3,124	399,641	
		3	3	—	<5.2%>	
(ユーロ…フランス)						
LOREAL-ORD	83	96	3,049	390,091	パーソナル用品	
LVHM MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	51	55	3,017	386,010	繊維・アパレル・贅沢品	
PERNOD RICARD SA	125	137	2,239	286,416	飲料	
REMY COINTREAU	32	32	541	69,305	飲料	
HERMES INTERNATIONAL	19	20	1,978	253,040	繊維・アパレル・贅沢品	
KERING SA	26	34	1,841	235,499	繊維・アパレル・贅沢品	
ESSILORLUXOTTICA	151	171	2,344	299,865	繊維・アパレル・贅沢品	
SMCP S. A. S.	271	271	139	17,835	専門小売り	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	762	820	15,151	1,938,064	
		8	8	—	<25.3%>	
(ユーロ…オランダ)						
DAVIDE CAMPARI-MIRANO NV	272	623	603	77,239	飲料	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	272	623	603	77,239	
		1	1	—	<1.0%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,700	2,061	21,651	2,769,406	
		14	14	—	<36.2%>	
(香港)			千香港ドル			
L OCCITANE INTERNATIONAL SA	3,672	3,730	8,206	111,683	パーソナル用品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,672	3,730	8,206	111,683	
		1	1	—	<1.5%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	8,127	9,595	—	7,410,256	
		31	35	—	<96.9%>	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の〈〉内は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

外国新株予約権証券

銘柄	期首(前期末)	当 期 末			
		証 券 数	評 価 額		
			証 券 数	外貨建金額	邦貨換算金額
(スイス) CIE FINANCIERE RICHEMO-CW23	証券 —	証券 46,798	千スイスフラン 14	千円 1,761	
合 計	証券数・金額 —	46,798	14	1,761	
	銘柄数<比率>	—	1	—	<0.0%>

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*〈 〉内は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

*単位未満は切り捨て。

野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド

運用報告書

第14期（決算日2020年8月24日）

作成対象期間（2019年8月23日～2020年8月24日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。
主な投資対象	世界のプレミアム・ブランド企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式（預託証券で株券などの性質を有するものならびに上場、登録予定を除く。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	円	騰落率	MSCI	騰落率			
10期(2016年8月22日)	17,420	△20.3	190.63	△11.8	96.0	—	5,867
11期(2017年8月22日)	21,668	24.4	233.10	22.3	98.7	—	5,915
12期(2018年8月22日)	25,675	18.5	285.22	22.4	95.2	—	7,131
13期(2019年8月22日)	26,179	2.0	280.76	△1.6	99.0	—	6,192
14期(2020年8月24日)	29,186	11.5	357.15	27.2	98.9	—	5,642

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*参考指数(=MSCIワールド一般消費財・サービス指数(円換算ベース))は、MSCI World Consumer Discretionary Index(現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。
 *MSCIワールド一般消費財・サービス指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所:MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	円	騰落率	MSCI	騰落率		
(期首) 2019年8月22日	26,179	—	280.76	—	99.0	—
8月末	26,212	0.1	281.47	0.3	97.7	—
9月末	26,246	0.3	288.08	2.6	98.1	—
10月末	27,347	4.5	300.10	6.9	99.0	—
11月末	28,221	7.8	306.73	9.2	98.5	—
12月末	29,248	11.7	315.56	12.4	99.1	—
2020年1月末	28,744	9.8	309.90	10.4	98.8	—
2月末	26,183	0.0	289.02	2.9	96.7	—
3月末	22,893	△12.6	245.63	△12.5	93.7	—
4月末	24,245	△7.4	280.72	△0.0	94.8	—
5月末	26,156	△0.1	298.50	6.3	99.1	—
6月末	26,609	1.6	309.44	10.2	97.1	—
7月末	27,289	4.2	326.14	16.2	97.7	—
(期末) 2020年8月24日	29,186	11.5	357.15	27.2	98.9	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移

【基準価額等の推移】
(2019年8月23日～2020年8月24日)



(注) 参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数（円換算ベース）です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首26,179円から期末29,186円となりました。

- (下落) 2019年9月は、FOMC（米連邦公開市場委員会）で追加利下げが決定されたものの、今後の政策金利の行方について市場の見方が分かれたこと、ユーロ圏およびドイツの9月PMI（購買担当者景気指数）が低下したこと、米トランプ大統領への弾劾調査が正式に開始されると発表されたこと
- (上昇) 10月は、米中貿易協議への期待が高まったこと、英国の合意なきEU（欧州連合）離脱懸念が後退したこと、為替市場で対ユーロで円安となったこと
- (上昇) 11月は、米中貿易協議が部分的な合意に至るとの期待が高まったこと、10月の米雇用統計で非農業部門雇用者数が市場予想を上回って増加したこと、英国のEU離脱に対する楽観的な見方が広がったこと
- (上昇) 12月は、米中貿易協議が第1段階の合意に近づいているとの観測が高まったこと、英総選挙で与党保守党が勝利したこと
- (下落) 2020年1月は、2019年12月の米ISM製造業景況指数が悪化したこと、中国での新型コロナウイルスの感染拡大を受けて世界経済への悪影響が意識されたこと

- (下落) 2月は、中国での新型コロナウイルスの感染拡大を受け、アップルなどが企業業績に影響が出るとの警告を出したことで、その後感染地域が欧州や米国にまで広がったこと
- (下落) 3月初め、新型コロナウイルスが世界的に感染拡大したこと、OPEC（石油輸出国機構）とロシアなどOPEC非加盟産油国の減産交渉決裂を受け原油価格が急落したこと、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからず、欧州や米国景気の先行き懸念が強まったこと、為替市場で対ドル、対ユーロで円高が進んだこと
- (上昇) 3月下旬に米国で大型経済対策が成立したこと、FRB（米連邦準備制度理事会）による無制限の量的緩和策が決定されたこと、ドイツの大型経済対策の発表など欧州各国が財政・金融政策を打ち出したこと、為替市場で対ドル、対ユーロで円安となったこと
- (下落) 4月初めに3月の米雇用統計が市場予想を上回る悪化を示したこと、為替市場で対ドル、対ユーロで円高となったこと
- (上昇) 4月中旬以降は、新型コロナウイルスの治療薬開発への期待が高まったこと、欧州や米国で経済活動の段階的な再開の動きが広がったこと、EUの欧州委員会が7,500億ユーロの基金創設を柱とする復興計画案を公表したこと
- (上昇) 7月初めには、6月の雇用統計など市場予想以上の米経済指標が相次いで発表されたこと、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展が報道されたこと、8月に入り、業績が好調なアップル株やテスラ株などへの買いが継続したこと、為替市場で対ユーロで円安が進んだこと

○投資環境

世界株式市場は、期の前半は米中貿易摩擦やFRBの金融政策の行方に左右される展開、後半は、新型コロナウイルスの実体経済に与える悪影響が懸念され下落する局面もありましたが、通期では、世界各国の主要中央銀行による緩和的な金融政策や新型コロナウイルス向けワクチンの開発期待などを背景に上昇となりました。また、為替市場では、円は対米ドルで上昇（円高）、対ユーロに対しては下落（円安）となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

前回の運用方針をもとに当期間は以下のような運用を行いました。

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

(1) 主として世界のプレミアム・ブランド企業※の株式に投資してまいりました。

※プレミアム・ブランド企業とは、流行を創造するデザインや最高品質などに基づくブランド力により、消費者に幸福感、優越感などの感情をもたらすことができる商品・サービス（プレミアム・ブランド商品・サービス）を提供している企業を指します。

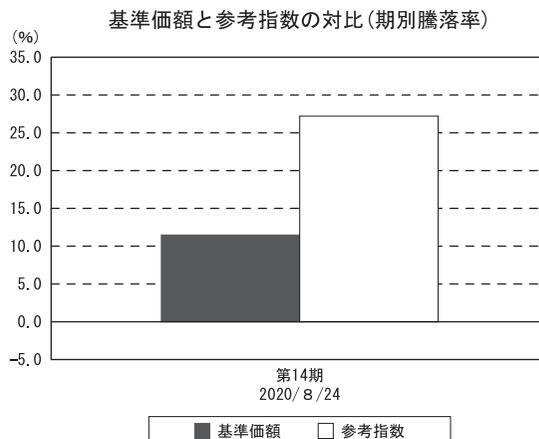
(2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、ボトムアップ・アプローチによる銘柄選別を行い、高い成長が期待される企業の株式を選定してまいりました。

(3) 個別銘柄の売買については、米国のホテルやリゾート運営持株会社や、米国のアルコール飲料メーカーなどの株式を新規に購入したほか、アディダス（ドイツ、スポーツ用品メーカー）などの株式を買い増しました。一方で、フランスの加工食品会社や米国のオンライン旅行会社などの株式を全売却したほか、米国のクレジットカード会社や日本の化粧品・トイレタリーメーカーなどの株式を一部売却しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークを設けておりません。コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCIワールド一般消費財・サービス指数（円換算ベース）の27.2%の上昇に対し、基準価額は11.5%の上昇となりました。主な差異要因としては、非保有であった米国のオンライン小売会社の株価が市場を上回って推移したことや、保有していたアメリカン・エクスプレス株（米国、クレジットカード会社）が下落したことなどがマイナスの影響となりました。



(注) 参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数（円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

プレミアム・ブランド企業は、差別化された製品やサービス、ワンランク上の経験、質の高いライフスタイルを提供しています。こうした点は今後も相対的に高い成長をもたらす原動力になるものと考えます。また、こうしたプレミアム・ブランド企業は、健全な財務基盤を有し、高いキャッシュ・フロー創出力を有しています。

当ファンドは、プレミアム・ブランドとしての認知度が非常に高く、高品質かつ時代に左右されることのない、プレミアム・ブランド商品やサービスを提供する企業の中から、より高い売上・利益成長力や収益性、強固な財務基盤を有し、バリュエーション（投資価値評価）水準からも割安と判断される企業を厳選して投資を行う方針です。特に、最高品質の製品、類い希なるサービスを提供し、今日の消費市場で重要な鍵の一つであるデジタル戦略に十分取り組んでいる企業に注目しています。同時に、持続的な成長が可能か、また、高い収益性が実現できるかなどについても注目しています。

なお、2003年に感染が拡大したSARS（重症急性呼吸器症候群）発生時にも、プレミアム・ブランド企業の業績は一時的にマイナスの影響が出たものの、その後、需要は急回復しました。今回、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で世界的に厳しい封鎖措置がとられていたことなどから、プレミアム・ブランド企業の足元の売り上げや利益の悪化は避け難い状況です。しかし、そうした都市封鎖や移動制限などの措置が緩和されるにつれ、業績は徐々に改善に向かっていくと考えています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年 8 月23日～2020年 8 月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 13 (13)	% 0.048 (0.048)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	9 (9)	0.034 (0.034)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	20 (20) (0)	0.076 (0.076) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	42	0.158	
期中の平均基準価額は、26,616円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年8月23日～2020年8月24日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 11	千円 94,364	千株 23	千円 154,981
	アメリカ	百株 1,569 (-)	千米ドル 15,850 (△ 13)	百株 1,542	千米ドル 19,454
外	イギリス	263	千英ポンド 763	182	千英ポンド 496
	スイス	0.55 (-)	千スイスフラン 405 (△ 4)	86	千スイスフラン 1,519
国	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	70	1,157	94	705
	イタリア	1,094	2,449	275	1,552
	フランス	203	3,439	659	8,980
	オランダ	-	-	449	376
	香港	1,110	千香港ドル 1,782	375	千香港ドル 424
	オーストラリア	-	千豪ドル -	823	千豪ドル 1,464

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

*()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2019年8月23日～2020年8月24日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	6,850,902千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,766,884千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.18

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年8月23日～2020年8月24日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	
		百万円	%		百万円	%
株式	2,829	7	0.2	4,021	86	2.1
為替直物取引	650	88	13.5	1,827	481	26.3

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	2,802千円
うち利害関係人への支払額 (B)	155千円
(B) / (A)	5.6%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村証券株式会社、野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2020年8月24日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末) 当 期 末		
	株 数	株 数	評 価 額
化学 (100.0%)	千株	千株	千円
資生堂	22.8	10.7	62,081
合 計	株 数 ・ 金 額	株 数	評 価 額
	22.8	10.7	62,081
	銘 柄 数 < 比 率 >		
	1	1	< 1.1% >

*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

*銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

*評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

銘柄	株数	期首(前期末)	当期		業種等	
			株数	評価額		
						外貨建金額
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
AMERICAN EXPRESS CO	202	233	2,243	237,389	消費者金融	
APPLE INC	98	63	3,138	332,064	コンピュータ・周辺機器	
BOOKING HOLDINGS INC	8	—	—	—	インターネット販売・通信販売	
BRIGHT HORIZONS FAMILY SOLUT	59	—	—	—	各種消費者サービス	
BROWN-FORMAN CORP-CL B	—	221	1,596	168,917	飲料	
FARFETCH LTD-CLASS A	149	—	—	—	インターネット販売・通信販売	
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN	—	232	2,032	215,080	ホテル・レストラン・レジャー	
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	86	127	2,649	280,275	パーソナル用品	
LEVI STRAUSS&CO.-CLASS A	79	—	—	—	繊維・アパレル・贅沢品	
LIVE NATION ENTERTAINMENT IN	124	—	—	—	娯楽	
LULULEMON ATHLETICA INC	42	46	1,703	180,243	繊維・アパレル・贅沢品	
MARRIOTT INTERNATIONAL-CLA	180	184	1,754	185,675	ホテル・レストラン・レジャー	
NEW ORIENTAL EDUCATION-SP ADR	58	—	—	—	各種消費者サービス	
NIKE INC-B	338	307	3,375	357,148	繊維・アパレル・贅沢品	
STARBUCKS CORP	184	240	1,853	196,120	ホテル・レストラン・レジャー	
TAL EDUCATION GROUP-ADR	91	—	—	—	各種消費者サービス	
TESLA INC	22	14	2,892	306,028	自動車	
TIFFANY & CO	31	—	—	—	専門小売り	
V F CORP	136	301	1,859	196,733	繊維・アパレル・贅沢品	
VAIL RESORTS INC	49	—	—	—	ホテル・レストラン・レジャー	
VISA INC-CLASS A SHARES	193	92	1,886	199,555	情報技術サービス	
GARMIN LTD	—	101	1,037	109,812	家庭用耐久財	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,139	2,166	28,024	2,965,044	<52.5%>
(イギリス)			千英ポンド			
DIAGEO PLC	425	506	1,311	181,698	飲料	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	425	506	1,311	181,698	<3.2%>
(スイス)			千スイスフラン			
CHOCOLADEFABRIKEN LINDT-PC	1	1	941	109,193	食品	
CIE FINANCIERE RICHEMONT-BR A	166	80	470	54,599	繊維・アパレル・贅沢品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	167	81	1,412	163,792	<2.9%>
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
ADIDAS AG	49	87	2,271	283,475	繊維・アパレル・贅沢品	
PUMA SE	171	109	758	94,663	繊維・アパレル・贅沢品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	221	197	3,029	378,139	<6.7%>
(ユーロ…イタリア)						
BRUNELLO CUCINELLI SPA	123	155	392	48,954	繊維・アパレル・贅沢品	
FERRARI NV	101	114	1,882	234,922	自動車	
MONCLER SPA	145	196	630	78,684	繊維・アパレル・贅沢品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	370	467	2,905	362,561	<6.4%>
(ユーロ…フランス)						
LOREAL-ORD	124	83	2,284	285,152	パーソナル用品	
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	54	51	1,997	249,227	繊維・アパレル・贅沢品	
PERNOD RICARD SA	182	125	1,802	224,941	飲料	
REMY COINTREAU	81	32	451	56,329	飲料	
HERMES INTERNATIONAL	25	19	1,397	174,383	繊維・アパレル・贅沢品	
KERING SA	26	26	1,296	161,831	繊維・アパレル・贅沢品	
ACCOR SA	101	—	—	—	ホテル・レストラン・レジャー	

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額	比率		
(ユーロ…フランス)	百株	百株	千ユーロ	千円		
ESSILORLUXOTTICA	159	151	1,655	206,646	繊維・アパレル・贅沢品	
ORPEA	61	—	—	—	ヘルスケア・プロバイダー・ヘルスケア・サービス	
DANONE	202	—	—	—	食品	
SMCP S. A. S.	199	271	105	13,224	専門小売り	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,219 762	10,991	1,371,735		
(ユーロ…オランダ)	—	272	232	29,020	飲料	
DAVIDE CAMPARI-MIRANO NV	—	272	232	29,020		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— 1	—	<0.5%>		
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,810 14	1,700	17,159	2,141,456	<38.0%>
(香港)	—	—	千香港ドル	—		
L OCCITANE INTERNATIONAL SA	2,937	3,672	4,649	63,464	パーソナル用品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,937 1	3,672 1	4,649	63,464	<1.1%>
(オーストラリア)	—	—	千豪ドル	—		
TREASURY WINE ESTATES LTD	823	—	—	—	飲料	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	823 1	—	—	—	<-%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	8,304 40	8,127 31	—	5,515,456	<97.7%>

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2020年8月24日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
株式	千円	%
	5,577,537	94.2
コール・ローン等、その他	341,682	5.8
投資信託財産総額	5,919,219	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 当期末における外貨建て純資産 (5,566,020千円) の投資信託財産総額 (5,919,219千円) に対する比率は94.0%です。

* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=105.80円、1英ポンド=138.51円、1スイスフラン=115.97円、1デンマーククローネ=16.77円、1ユーロ=124.80円、1香港ドル=13.65円、1シンガポールドル=77.14円、1豪ドル=75.80円、1ランド=6.17円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年8月24日現在)

項 目	当 期 末 円
(A) 資産	5,926,144,284
コール・ローン等	310,296,803
株式(評価額)	5,577,537,535
未収入金	33,235,811
未収配当金	5,074,135
(B) 負債	283,725,331
未払金	6,925,000
未払解約金	276,800,000
未払利息	331
(C) 純資産総額(A-B)	5,642,418,953
元本	1,933,253,483
次期繰越損益金	3,709,165,470
(D) 受益権総口数	1,933,253,483口
1万口当たり基準価額(C/D)	29,186円

(注) 期首元本額は2,365,280,097円、期中追加設定元本額は218,466,273円、期中一部解約元本額は650,492,887円、1口当たり純資産額は2,9186円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Bコース 1,493,688,246円
 ・野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース 439,565,237円

○損益の状況 (2019年8月23日～2020年8月24日)

項 目	当 期 円
(A) 配当等収益	57,220,049
受取配当金	57,340,013
受取利息	195,931
支払利息	△ 315,895
(B) 有価証券売買損益	643,354,647
売買益	1,376,627,415
売買損	△ 733,272,768
(C) 保管費用等	△ 4,467,668
(D) 当期損益金(A+B+C)	696,107,028
(E) 前期繰越損益金	3,826,743,828
(F) 追加信託差損益金	380,833,727
(G) 解約差損益金	△1,194,519,113
(H) 計(D+E+F+G)	3,709,165,470
次期繰越損益金(H)	3,709,165,470

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2021年2月22日現在)

年 月	日
2021年2月	-
3月	-
4月	2、5
5月	13、24、31
6月	-
7月	-
8月	30
9月	9
10月	-
11月	-
12月	27、28

※ 2021年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。